



たいよう通信

2016年3月発行 Vol.10

日々の子どもたち



立春を過ぎ「節分」の行事を終えました。日差しが明るくなり、早春の空気がちょっぴり冷たい毎日です。寒暖差が激しく、市内の小学校の学級閉鎖が相次ぎましたが、太陽の子どもたちは元気に過ごせています。いよいよ卒業シーズンを迎え、新たな環境への旅立ちや、進級の準備の季節を迎えます。



福は うち
太陽さんの
福娘

◇さんぽみち◇

「体験学習」として取り組んでいる電車体験。

太陽の子がある藤江駅南側には、手入れされた梅の花が満開。下りホームに立つと春の香りがします。



キビ団子のパッケージをみて



「鬼の役」は、自分の仕事、とばかりに準備を整えて、玄関から鬼が入ってきます。その鬼めがけて「鬼はそと〜」。鬼はひと暴れして退散。今年も無病息災で過ごせそうです。



段ボールで、
滑り台を組み立て中



新聞広告を使って、恵方巻きパーティーを計画。お金も電卓で計算しました。

